

福井県

事業所管：福井県農林水産部中山間農業・畜産課
地域事務局：福井県まちづくりセンター

LFP パートナー数

30社・団体
(2023.3 現在)

● 持続可能な米の消費につながる新商品開発と企業マッチング

新たな米の消費方法の創出を推し進め、消費量減少という課題解決を目指す。これまでのサプライチェーンにイノベーションを誘発するプラットフォームを構築し、地域に根付く米文化を引き継ぎつつも、今までなかったバリューチェーンを伴う新規の米消費ビジネスを創出する。



試作されたコシノゴパン。



新たなビジネスの価値

- 食味や食感が良く、子育てママが手早く準備できる“越(こし)の国の米粉パン” (コシノゴパン - 仮と命名) を福井の朝食メニューの定番として提案。「福井 = 米粉」の新しい食文化を育てる。
- 福井県産の米粉パンと米粉クッキーサンドを、ホテルや地域商社の協力を得て、北陸新幹線延伸による観光客の需要を取り込む。

プラットフォームの体制

- 米の多様な活用方法の検討に向け、食品産業のみならず、越前漆器や和紙の製造メーカー、教育機関、新聞社など多様な事業者の参画を募った。

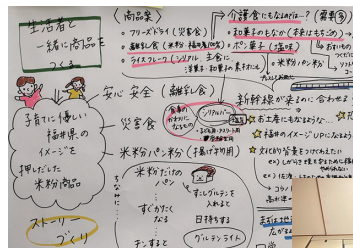
農業者、農協、菓子工業組合に参画する和菓子メーカー、製粉業者、流通業者、地域商社、和紙工業組合組合員、漆器工業組合組合員、観光開発事業者、同志社大学、(株)福井新聞社等。

新しい取組・仕組みづくり

- サプライチェーンの各段階の事業者の知見を収集して、米粉商品が普及しない要因を分析。
- 米の生産から製粉、加工の各段階での技術がまだまだ不足していることが判明。県は米粉活用の拡大を目指して、技術開発に取り組んでいく。

ビジネス創出のプロセス

- 米の新しい消費方法を模索するために、専門部会を設置、建築資材、ペットフード、エネルギー、和紙・漆器とのコラボなど、食品以外の用途について検討した。
- 「米粉」「子育てママ」「朝食」をキーワードとして、主婦モニター（福井新聞社子育てネットワーク）や大学生とのコラボで、商品企画、商品開発を実施。



子育てママと連携した座談会の様子。